

「キャンプ砂防2022in六甲」を開催しました

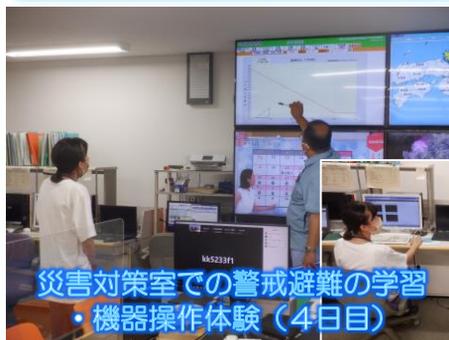
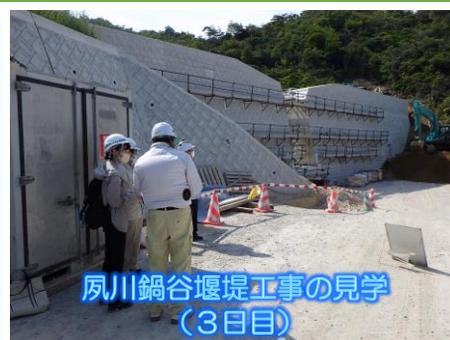
～六甲砂防事務所～

国土交通省では、学生を対象に、普段の学業では体験できない内容に触れる事で、砂防事業の取り組みについて理解を深めていただく事を目的として、毎年「キャンプ砂防」を実施しております。近畿地方整備局では、六甲砂防事務所と紀伊山系砂防事務所において隔年で実施しており、今年は六甲砂防事務所にて、8月1日～8月5日の5日間、1名の学生が受講しました。

概要

【日程】（◆は現場実習、それ以外は座学）

- 8/1（月）：オリエンテーション、開講式、六甲砂防事務所概要説明、土石流模型実験、近年の土砂災害の実態
- 8/2（火）：砂防堰堤とは、砂防堰堤の施設配置計画（演習）、災害時の対応で求められること、災害時の調査方法について（レーザ測量）、六甲山系GB地内でのナラ枯れ被害防除対策について
- 8/3（水）：◆現場実習①：砂防堰堤工事・GB斜面对策工事見学
◆現場実習②：砂防施設点検見学（通常、UAV点検）
- 8/4（木）：警戒避難について、BIM/CIMとは、広報活動について、◆現場実習③：緊急調査
- 8/5（金）：報告会、意見交換会、閉講式



1、2日目に事務所内で、土石流模型実験装置の見学や六甲砂防事務所事業概要、砂防堰堤の施設配置計画の演習、ナラ枯れ対策等を学んでいただいた後、3日目は、現場にて砂防堰堤工事やGB斜面对策工事、砂防施設の点検現場でUAV点検等を見学いただきました。4日目は、災害対策室で警戒避難の学習や機器操作を体験し、BIM/CIMや広報活動を学んだ後、災害時の緊急調査で使用する【砂防調査・管理効率化ツール（SMART SABO）】を現場にて実習していただき、5日目は報告会や意見交換会を開催しました。

受講生の方からは「実際に現場で体験してみると、想像していたより3Kの克服のため様々な改善が図られており、ICTと機械の活用期待したいと思う。多くの学生が【キャンプ砂防】のような取組をもっと体験するべきであり、学生への周知方法を工夫した方がいいと感じた。」とのご意見をいただきました。今回の【キャンプ砂防】が受講生の糧になれば幸いです。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

